

産業厚生常任委員会資料

令和2年6月8日

健康福祉部 福祉総務課

東条福祉センターとどろき荘の運営状況について

1 入浴者数の推移

各月の目標入浴者数を定め、月ごとに達成状況を管理しました。

目標達成率は、80%台後半から90%台前半で推移しており、前年同月と比較すると、どの月も入浴者数は増加しました。（11月25日～12月4日：ろ過機等の修繕工事による営業休止期間。3月5日～31日：新型コロナウイルス感染症拡大防止のための営業時間短縮期間を除く）

これは、営業再開（平成30年3月）後、入浴者増加にむけて継続的に取り組んできた成果と、特にゆったり浸かれる低温浴風呂の人気の要因と推測します。

年間の入浴者数は、目標（70,000人）に対し86.7%（60,712人）となり、前年度の入浴者数（52,281人）と比較すると16.1ポイント改善しました。

なお、11月下旬から営業を休止したこと及び3月に営業時間を短縮したことにより、入浴者数が減少したと分析しており、この分を加味すれば、入浴者数は63,784人（11月25日～12月4日…1,788人、3月5日～31日…1,284人の加算）、目標達成率は91.1%になったものと推測します。

2 入浴者増加への取組状況

（1）イベント企画

- ・夏休み親子入浴者へのプレゼント企画（アイスクャンデープレゼント）
- ・団体利用者へのプレゼント企画（10人以上でタオルプレゼント）
- ・回数券販売促進キャンペーン（年4回）
- ・複数回入浴で応募できるスタンプカードによるプレゼント企画（春・夏・秋の各季節に実施）
- ・とどろきカフェ（月2回）

（2）情報発信・PR

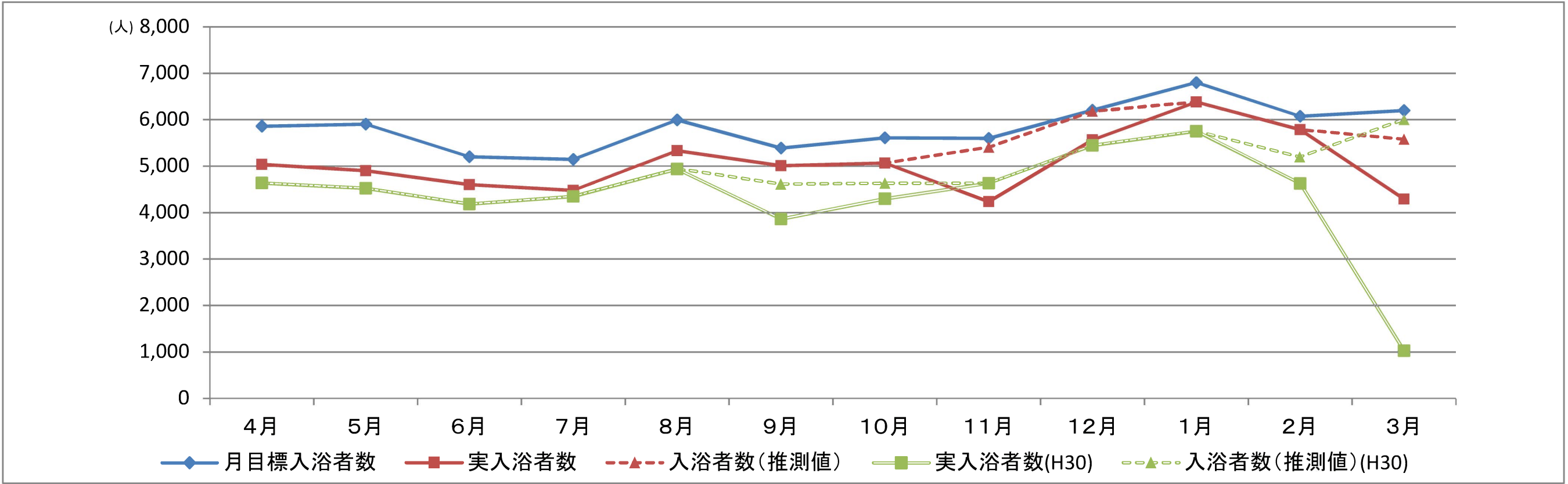
- ・イベント告知のダイレクトメール（はがき）を発送
- ・情報誌まるはり（播磨地方版）への掲載
- ・ホームページ、SNSによる情報発信
- ・泉質や効能、低温浴風呂の効果をPR（シニアクラブ東条支部、SNSの活用）

（3）年末年始の営業実施

12月29日から1月3日まで（14時から21時まで臨時営業）

令和元年度 とどろき荘入浴者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
月目標入浴者数	5,860	5,906	5,202	5,148	5,995	5,393	5,614	5,598	6,206	6,802	6,077	6,199	70,000
実入浴者数	5,042	4,903	4,606	4,480	5,334	5,011	5,068	4,234	5,569	6,382	5,788	4,295	60,712
達成率(%)	86.0%	83.0%	88.5%	87.0%	89.0%	92.9%	90.3%	75.6%	89.7%	93.8%	95.2%	69.3%	86.7%
入浴者数(推測値)								5,407	6,184				63,784
達成率(%) (推測値)								96.6%	99.6%				91.1%



(参考・平成30年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実入浴者数(H30)	4,640	4,522	4,186	4,349	4,940	3,861	4,299	4,633	5,445	5,755	4,625	1,026	52,281
達成率(%)	76.5%	77.2%	80.9%	80.6%	83.6%	72.8%	70.6%	81.2%	89.5%	85.7%	80.7%	17.2%	74.7%
入浴者数(推測値)(H30)						4,617	4,633					5,198	58,922
達成率(%) (推測値)						87.1%	76.1%					90.7%	84.2%

3 収支状況について

入浴者増加と収支改善の取組により、入浴単価が改善し黒字を見込んでいましたが、3月に入り新型コロナウイルス感染症の影響により入浴者数が減少したため、315千円の赤字となりました。

(収入)

第1四半期（4月～6月）は、入浴者数が昨年実績から大きく増加しました。

各施設に配置していた割引券の利用者が多く入浴単価が低下し、入浴料増加に直結しませんでした。回数券販売促進キャンペーンの売上が大きかったことから入浴料収入は微増しました。

第2四半期（7月～9月）は、前期同様に入浴者数は増加傾向を維持しました。

また、割引券の配布方法の変更やポイントサービスデイの見直しにより、回数券購入者が増えてきたことから、入浴料収入も増加しました。

第3四半期（10月～12月）は、11月下旬から12月上旬のろ過機等の修繕工事による入浴休止のため一時的に入浴者数は減少しましたが、12月の回数券販売促進キャンペーンの売上により入浴料収入は増加しました。

第4四半期（1月～3月）は、時間短縮営業（新型コロナウイルス感染症予防による）により入浴者数が減少しましたが、回数券販売促進キャンペーンの売上により、入浴料収入は増加しました。

収入全体では、入浴休止の補償金（ろ過機等の修繕工事に伴う）543千円及び土産物販売等の利益2,008千円の収入がありました。

(支出)

人件費では、6月・12月に賞与を支給したこと、8月・9月・2月・3月に社会保険料の支出を上乗せしていることから、通常月より支出が多くなっています。

事業費では、偶数月に上下水道料金の支払いを行うため、奇数月より増額となっています。光熱水費は、入浴者に比例し、夏以降に増加しました。

事務費では、小規模修繕が多く発生し、中でも各種ポンプ類の取替や温度制御機器の修繕が大きな支出となりました。

7月には消費税の支払いが通常の支出に上乗せとなりました。

四半期ごとの入浴料収入比較

(単位：千円)

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計
平成30年度	6,424	6,109	6,641	4,311	23,485
令和元年度	6,604	8,215	7,317	6,697	28,833
差額	180	2,106	676	2,386	5,348

令和元年度 とどろき荘 収支

(収入)

(単位：千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
指定管理料	0	1,592	3,693	2,363	2,246	0	1,201	136	1,540	1,496	1,341	635	16,243
入浴料	3,282	1,630	1,692	1,683	2,379	4,153	1,729	1,428	4,160	2,023	2,001	2,673	28,833
その他	186	387	261	214	174	202	297	195	192	202	217	2,203	4,730
計	3,468	3,609	5,646	4,260	4,799	4,355	3,227	1,759	5,892	3,721	3,559	5,511	49,806

※ その他は、多目的ホール使用料、テナント料、自動販売機基本設置料等

(支出)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人件費	1,339	1,295	2,724	1,730	1,961	2,269	1,341	1,572	3,127	610	1,976	1,775	21,719
事業費	1,326	1,092	1,894	879	1,499	955	1,765	951	1,851	959	1,950	959	16,080
事務費	1,025	991	856	2,703	854	1,440	420	1,179	689	900	786	479	12,322
計	3,690	3,378	5,474	5,312	4,314	4,664	3,526	3,702	5,667	2,469	4,712	3,213	50,121

収支差額	▲ 222	231	172	▲ 1,052	485	▲ 309	▲ 299	▲ 1,943	225	1,252	▲ 1,153	2,298	▲ 315
------	-------	-----	-----	---------	-----	-------	-------	---------	-----	-------	---------	-------	-------

4 収支改善の取組

(1) 割引の見直し等による入浴料の増収効果

- ① 各施設への割引券配置を廃止し、回数券購入を推進したことにより
120千円
- ② ポイントデーの日数を約20%削減したことにより193千円
- ③ JAF会員の優待入浴の廃止(8月30日)により27千円

(2) 収益事業の商品充実

募金百貨店との協同事業で、手作り盆景を販売することにより59千円の増収

※募金百貨店・・・寄付つき商品を販売し、売り上げの一部を赤い羽根共同募金に
寄付するもの

5 運営状況の分析と今後の課題

平成30年の営業再開後、2年目を迎えた令和元年度の入浴者数は大幅に改善し、目標達成率は86.7%となりました。

入浴者数増加の要因は、各種イベント・プレゼント企画及びダイレクトメール送付の効果と推測しています。

また、情報発信では情報誌まるはりへの広告及び無料クーポンの掲載により、温泉好きの新規入浴者を増やす効果があったと考えています。

今後は、さらに入浴者を増やすための方策として、各サービスを実施する中で利用者を複数回入浴につなげるための顧客管理・分析力の強化が必要であると考えています。

また、常連客から「とどろき荘の泉質は他の施設より良い。体の芯から温まり冷めにくい」という、うれしい声が多く聞こえるようになってきており、この点を施設の強みとしてさらにPRしていきます。

今後は新型コロナウイルス感染症が、とどろき荘の入浴者数に大きく影響するものと考えます。

6月1日から制限付きで再開しましたが、兵庫県の感染拡大予防ガイドラインに従い感染防止に努めていきます。